

「湖都の祈り」三井流声明と薪能」開催

前号で予告しましたが、大津市内の著名十社寺で組織している『湖信会』の五十周年記念行事の一環として、去る十月二十四日(土)夕刻より、標記の行事が行われ、木村至宏氏(成安造形大学前学長・名誉教授)の講演「大津の寺と社」、三井寺の僧侶十二名による三井流声明(しょうみょう)、梅若六郎玄祥師(人間国宝)による観世流能楽「近江八景」が近江神宮大前で行われました。夕開がしのび寄るなかに巫女の手により篝火に点火、拜殿中庭に設けられた能舞台は幻想的な雰囲気にも包まれ、国立能楽堂所蔵の天智天皇の能面を着けた梅若玄祥師による、近江八景を讃えた曲舞は、まことに場にふさわしい演目で、短時間ながら観衆に深い感銘を与えました。



天智天皇能面

した。冒頭には三井流声明と梅若師の能舞との共演も行われました。近江神宮では昭和三十年代から五十年代にかけて二十年間ほど薪能が行われていましたが、三十数年ぶりの能楽奉納でした。

天智天皇祭 一月十日

天智天皇はその御治世の十年十二月三日、大津宮にて崩御あらせられました。太陽暦に直すと六七二年一月十日になり、この日、毎年天智天皇祭が行われています。この日は八時三十分より大前にて祭典の後、山科の天智天皇御陵正辰祭に参列、続いて京都・東山の泉涌寺に参拝します。泉涌寺は真言宗泉涌寺派の総本山で、皇室の菩提寺として知られ、天智天皇以後の御歴代の多くの天皇・皇后の御位牌をお祀りし、現在も皇室とは特別の関係にある寺院であり、鎌倉時代の四条天皇以後、多くの天皇の陵墓はその境内に造られました。

(天智天皇祭に参列ご希望の方は事前にご連絡をお願い致します)



↑ 天智天皇御陵正辰祭



↓ 泉涌寺

むべワイン・むべ飴

近江八幡市特産のあけび科の果実・郁子(むべ)の実、天智天皇が付近を視察の折に、無病延命の霊果として御嘉納になられた故事にちなんで、平安朝初期より現在に至るまで、途中中断はあったものの連綿と皇室に献上されています。近江神宮にも毎年十一月七日の御鎮座記念祭に、



御鎮座記念祭むべ献納

近江八幡市・大嶋奥津嶋神社より宮司以下が参列して奉納されています。このほど郁子の実を使ったワイン・リキュール・飴などが作られ、あわせて奉納されました。

湖国菊花展

毎年十一月一日より二十日ころまで近江神宮境内でも菊花展が行われています。以前は野生猿の出没が激しく、猿対策の網がかけられて見栄えも悪く、せっかく出品展示された菊の作品が台無しになることも多かったのですが、数年前に大津市が近辺の猿の捕獲を行ってからはあまり出なくなり、昨年からは網もない状態で見ていただくことができるようになりました。今年も猿の被害はなく、作品のすぐ傍に寄って写真を撮影する人の姿もよく見受けられました。



漫画『ちはやふる』原画展

改装工事・展示準備のため休館中の時計博物館は、七十年祭の年となる来年四月一日より『時計館宝物館』として新装開館する運びとなっています。時計関係のほか御創建以来奉納された絵画作品等も展示することになっており、企画展等にも使える一室も設けられます。開館に先立ち、その一室を利用したイベントとして、百人一首競技かるたを扱った漫画『ちはやふる』(末次由紀作 昨年初めより講談社の漫画雑誌『BE LOVE』連載中)の原画展が一月一日より月末まで開催されます。

年末年始の祭典等

- 十二月十三日午前九時 門松立て
- 十二月二十日午前九時 煤払祭
- 十二月二十三日午前十時 天長節祭
- 十二月三十一日午後三時 年越大祓式(続いて)除夜祭
- 一月一日午前〇時 歳旦祭(さいたんさい)
- 一月一日午前七時二分 初日の出遥拝式
- 一月二日午前八時三十分 日供始祭(につくははじめさい)
- 一月三日午前八時三十分 元始祭(げんしさい)
- 一月七日午前九時 昭和天皇祭遙拝式
- 一月九日午前十時 昭和三十九年位決定戦
- 一月十日午前八時三十分 天智天皇祭(天智天皇のご命日)
- 一月十日午前九時 かるた祭・高松宮記念杯全国歌かるた大会
- 一月十五日午前十時 古神札焼納祭
- 二月三日午前十時 節分祭
- 二月十一日午前十時 紀元節祭

まことに厳しい経済状況のなか、不安の多い年の瀬ですが、十分に祈りを深く、希望を持ってお過ごしいただきますようご健勝の程をお祈り申し上げます。